



すぎやま りく
杉山 莉玖先生

大切なのはあきらめないこと

9月上旬から2週間、教育実習で本校に来られた機械科卒業生の杉山先生。工業の先生を目指す先生に取材をさせてもらった。

愛知工業大学 工学部機械工学科専攻
4回生 22歳
論文のテーマ：動吸振器について
趣味 スノーボード(始めたのは4歳)

大学ではスノーボードサークルで部長を務める杉山先生。コロナ対策による人数制限対策として、全員が参加できるようなサークル内でシフト制を採用するなど、初めての試みをしたという。中学時代の先生は、車が好きな杉山先生だが、五科目では一般入試を受けてきた学生と力の差を感じたという。吐くほど勉強して採用試験に臨んだ。最後に八工生にアドバイスを受けた。「高校では先生に注意されて細かいと思うことも、あるかもしれない。でも社会に出た時にきつと役に立つ。社会に出たら誰も注意もしてくれないから」

八工で生活する限り何かしらのルールに当たるかもしれない。でも、一つ一つに意味がある。私は先生の話を通して、高校生活のありがたみを再確認した。ルールを守った上で、のびのびと過ごしていきたい。(岩)



とうきょう総文 2022

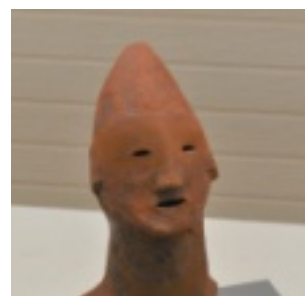
世界一の本の街と 大学博物館

副部長(川)が取材したのは、明治大学博物館と東京神田神保町。新型コロナウイルスに翻弄されながらも、懸命に取材をおこなった。

明治大学博物館は、刑事・商品・考古の3部門に分かれた展示を行っている。その中でもメインは刑事部門。ギロチンやアイアンメイデンなどの展示がある。これらはもちろん模造品ではあるが、独特の迫力があつた。

しかし、それ以上に取材班の目を引くものがあつた。考古部門の「跪(ひざまず)く人物埴輪」だ。この埴輪は茨城県の古墳で発掘されたもので、これを含めたほかにも何種類か埴輪が展示されていた。どの埴輪も、独特の愛嬌のある顔つきをしており、思わず頬が緩む。

本題はここから。なんと、1700年前の土人形にSNOWが反応したのだ！まさかこの埴輪も、1700年後のJKにかわいく盛られる



↑跪(ひざまず)く人物埴輪(国指定重要文化財)

とは思わなかっただろう。しかも似合っているのが絶妙に腹が立つ。

ちなみに、紙面の写真にもSNOWは反応しました。試してみてね。(川)



コロナ禍 取材NGも

東京神田神保町。古き良き昭和の香りが漂う人情の街。そして、新しい文化を生み出す創造の街。

様々な顔を持つこの街を徹底取材した。と言いたい所だが、感染対策のため取材は禁止に。

個人的に楽しみにしていたので、とても残念だった。(川)



↑日に灼かれながら神保町を歩く



→ひとりで行動してたら確実にこうなっていたらうなあ...先輩と行動できたことに感謝。都会って魅力的だけど、迷路。(健)

はっちークイズ

解答

1コマ目「朝日新聞本社」が間違い。本当は「読売新聞本社」。

大きすぎる間違いは気づかないって真実...。(三)

→はなちゃん(健)の行動は、イラスト担当2年生記者(健)の行動そのままです。約30枚の写真を撮ってまわりました。ラストのコマは顧問の叫びそのままです。(健)